



ブレストセンター クリニカルパス

～入院中の診療や看護の主な予定をご案内いたします～

様 病名 乳癌（乳房部分切除術 手術当日入院）

平成 年 月 日

主治医 担当看護師

聖路加国際病院（ ）病棟

経過 手術日・退院日など	1日目		2日目 術後1日	3日目 術後2日以降
	入院日・手術前	手術後		
治療 薬剤 (点滴・内服)	点滴留置針挿入（手術と反対側の腕）： 病室で行います。	・抗生物質の投与 ・痛みに応じて痛み止めを使用します。 （点滴、坐薬など）	・食事が取れたら、点滴留置針を抜きます。 ・毎食後、痛み止めを内服します。（場合によって、必要時の内服でもかまいません。）退院後は、必要時の内服に変わります。	
処置	手術する側の乳房にマジックでマーキングします。（エコーでマーキングする場合もあります。）	・手術後、酸素投与を行います。時々深呼吸を行ってください。 ・創部にドレーンが入ります。毎日排液量を測定します。	・酸素投与を中止します。 ・創部には創の保護の為、透明フィルムか、ダーマボンドで保護されています。フィルムは退院後、外来ではがします。 ・ドレーンは1日50ccを目安に抜きます。ドレーンの抜けた翌日に退院可能です。	
検査	<input type="checkbox"/> 乳房の超音波 <input type="checkbox"/> ()			
安静度	制限はありません。	手術後は、ベッド上安静。 身体の向きを変えたり起こしたりすることは可能です。	制限はありません。 初めて歩行される時は、看護師が付き添います。	
食事	入院後より絶飲食	絶飲食 口を湿らせたり、うがいはできません。 麻酔覚醒後6時間で水分摂取できます。	朝食から食事が始まります。制限はありません。	
清潔	手術前に、手術用ガウン、下着に着替えます。弾性ストッキングを着用します。	当日はガウンで過ごしていただきます。	ドレーンの入っている場合は、上半身は清拭、下半身はシャワーが可能です。	創部は透明フィルムで保護されています。水を通さないため、ドレーンが抜けた翌日以降は全身のシャワーが可能です。
排泄	入院後、尿量を計測し、記録してください。	麻酔がかかってから、尿道カテーテルを入れます。	朝、尿道カテーテルを抜きます。	排泄回数を記録してください。
説明・ オリエンテーション	・病室・病棟・入院生活、手術前後の流れなどについて看護師より説明します。 ・手術、麻酔の同意書をお預かりします。 ・問診、検温、常用薬の確認等行います。	手術終了直後、ご家族に医師から手術内容について説明します。	・手術後、病理の結果がでるまでには約2週間かかります。 退院後、初回外来にて結果をご報告し、今後の治療についてお話しします。 ・手術後のリハビリや生活上の注意点などについて、看護師より適宜説明します。 ・退院後の生活や注意点等についても説明書をお渡しして、説明します。 ・ご希望に応じて、訪問看護師の調整をします。（外来の場合もあります） ご質問、ご不明な点などありましたら、お声かけ下さい。	

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査などを進めていくにしたがって変わる可能性があります。

注2 入院期間については現時点の予想です。